

中学年 第3学年の授業づくり

研究授業前の 児童の姿

- 物語を読み、主人公と自分自身の経験や心情を比べ、考えることができている。
- 登場人物の心情を考える際に、叙述をもとに読み取る力が定着していない児童がいる。
- 伝え合い活動の中で友達の見解と自分の意見を比較しながら考える力はまだ身に付いていない。

研究授業 9月10日(水)

単元名 物語を読んで感想を深め、手紙を書こう
教材名 「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 3年)

授業の工夫

- 1 戦時中の時代背景を知ることによって物語をより読み深められるように、当時の様子が見える本を並行して読む。
- 2 物語の世界をより味わうために、友達と自分の意見を比較しながらペア学習を進める。



1 並行読書を取り入れた読みを深める工夫

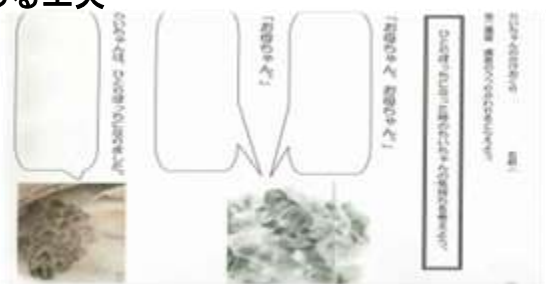
学校司書と連携を図り、戦争の時代背景を理解する助けとなる資料を用意して、担任や司書教諭が読み聞かせを行った。戦争とはどのようなものかを知らない児童は、ちいちゃんが生きた時代背景を知ることによって、より深く物語を読み深めることができた。



2 ペア学習を取り入れ、考えを深める工夫

伝え合いを通して考えを深めるために、ペア学習を取り入れた

- ①一人で登場人物の気持ちを考える。
- ②根拠となる叙述にサイドラインを引く。
- ③吹き出しのワークシートに書き込む。
- ④ペアで意見を伝え合う。



準備学習ワークシート

毎回、授業の始め5分間で、学習する大まかな内容を把握できるようにした。毎時間同じ流れで授業に臨めるようにした。

吹き出しワークシート

吹き出しを付けたことで、主人公の気持ちを想像しやすいようにした。

研究授業 成果と課題

- ☆戦争の時代背景が分かる並行読書を取り入れたことにより、より深く物語を読み進めることができた。
- ☆ペア学習で伝え合いをすることにより、自分の意見と友達の見解を比較して聞く意識が高まり、話し手は叙述を基に根拠を述べながら伝える意識がもてた。伝え合いの心地よさを感じることができた。
- ★ペア学習では、自分の意見の発表で終わってしまわないように、感想や質問等、言葉を返していく経験を積ませる必要がある。

研究成果報告会 授業のポイント

単元名 物語を読んで、しょうかいしよう
教材名 「モチモチの木」(光村図書 3年)

ペア学習や全体交流を通して、友達と自分の意見を比較しながら読み深める授業
齋藤隆介の他の作品を並行読書して、物語の世界をより深く味わわせる授業